

教室名 名水っ子放課後子ども教室

## 連絡先

場 所：延岡市教育委員会 社会教育課

電 話：0982-22-7032

FAX：0982-33-6874

E-mail：[s-kyouiku@city.nobeoka.miyazaki.jp](mailto:s-kyouiku@city.nobeoka.miyazaki.jp)

## 1 事業の目的・理念

放課後に小学校の余裕教室や図書室、体育館等を活用して、子どもたちの安心、安全な活動拠点（居場所）を設け、地域の方の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子ども達が地域社会のなかで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。

## 2 運営について

主な活動場所	図書室・体育館・余裕教室・運動場	平均参加人数	33人/日 登録人数42人
開設時間等	毎週 月～金 年約(222)回 午後 2～午後 5時 (冬季～4:30)	対象学年	小学校 1～6年生 (支援児童 2名含む)
コーディネーター	<b>活動内容</b> 子ども達と安全管理員との関係づくりへの配慮・学校と行政、安全管理員との連絡調整・体験活動、安全指導・安全管理員の配置・研修企画・保護者への広報（名水っ子だより作成） ( 1 )人		
安全管理員	<b>活動内容</b> 遊びや学習活動の安全な見守りや指導 体験活動や昔の遊びの指導や環境づくり 1日4人に対応 男4・女10人 (40～70代) 登録数 ( 14 )人		
学習アドバイザー	( 0 )人		

## 3 活動紹介（特色等）

- 20分間の学習後 好きな遊び（枕・絵かき・読書・ドッジボール・パドミントン）等をする。
- 週1回習字の時間を設けている（安全管理員のなかに習字指導者がいる）
- 水曜日は全学年同じ時間に授業が終わるので全員での楽しい体験活動を取り入れている。  
昔の遊び（ホタルかご作り、竹鉄砲、えの実鉄砲、和凧、柳もち、門松作り）夏休み・校外活動地域の偉人の話を聞いたり、この地域限定の「クサフグの産卵」について地域にある国立大学施設の教授の話を聞いた。
- 安全管理員の4名の男性が竹山に入り、材料となる竹の切り出しを行い、子ども達に「竹の切り方」「ひごの削り方」「本格的な門松作り」などをの活動を実施した。
- 安全管理員が積極的に体験させたり、活動を計画したり意欲的である。
- 平成21年5月にUMKテレビ「のびよ！みやざきっ子」で活動の様子が放映された。

## 4 参加者・保護者の感想・意見等

- 子ども**  
参加児童の98パーセントが「楽しい」と回答している。ダンボールハウス作り等の体験活動が人気である
- 保護者**  
昔の遊び等家庭ではできない体験をたくさんしている。放課後そのまま遊べて安心。家でゲームをしなくなった。子ども教室のおかげで不安なく仕事ができる。
- 安全管理員**  
自分達の学校、地域という意識が高まった。地域で子ども達と会話できるようになり元気がもらえる。異学年でひとつにまとまって遊び「思いやり」が育つ
- 学校**  
地域との連携の場になり地域の文化を伝えてもらい、学校での教科学習やくらしの中に生かしている。また、学校や地域で子ども達が見守られ安心、安全な環境作りが進められた。

## 5 事業全体の成果と課題

- 子ども達に対して家庭や学校だけでなく地域も連携するようになり、地域の夏祭りにポスターを描いたり貼ったりし協力した。地域の子どもが描いた絵なのでなかなか好評であった。安全管理員同士仲良く意欲的に楽しんで活動している。子ども達を通して顔見知りが増え普通に生活していたら広がらなかった世代との交流も生まれ、日々、子ども達とのふれあいや見守りが広がっていると感じる。地域づくりの大きな輪につながるものと思う。  
「地域の子どもは地域で育てる」というひたむきな思いの活動が認められて、昨年11月に「文部科学省の「第2回 放課後子ども教室推進表彰」を受けた。課題として、マンネリ化しない活動運営と安全管理員の資質向上のための研修を取り入れていきたい。

